

守口市立図書館指定管理者制度 総合評価(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 守口市立図書館

【指定管理者名】 図書館流通センター・大阪ガスビジネススクリエイト・長谷エココミュニティ共同事業体

【評価対象年度】 令和3年度

【施設所管課名】 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

施設のサービス水準の視点	コメント
	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館や時間短縮期間があったものの、利用者数は増加傾向である。アンケート集計においても、WEB上での実施や民間事業者のアンケート等を活用しており評価できる。 生涯学習施設については、多目的ホール及び円形ホール、会議室2が通年を通してワクチン接種会場となっていたが、その他スタジオ等の貸室利用については、原画展などのイベント企画や定期利用者の獲得など、利用率向上に繋げる工夫が見受けられる点も評価できる。 利用者満足度については、施設設備や自習スペースの使用状況についての声はあるものの、利用者の要望や意見を反映させて改善を図っている点や、スタッフの対応面でも高い満足度となっている。 今後もwithコロナを見据えた運営が求められることから、WEBサービス等の強化や利用者ニーズに沿った事業の展開、守口文化センター、市内コミュニティセンター及び学校図書館との連携を強化することで図書サービスの向上を図るなど、さらなる利用者増につながるサービスの提供に努められたい。

収支状況	コメント
	令和3年度の収支状況については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2ヶ月間の休館期間があったものの、4階の多目的ホール及び円形ホール、会議室2は通年を通してワクチン接種会場としての利用があり、それに係る人件費や光熱水費も予算超過したが、利用料収入が予算を大幅に上回ったため、黒字決算となっている。 しかしながら、ワクチン接種会場としての利用料収入は一過性のため、引き続き支出面での抑制に取組み、本来的な施設利用や自主事業での増加が見込まれるよう、利用者のニーズに沿った事業を効率的に実施し、施設の適切な管理運営に努められたい。 また、コロナ禍で自粛している当初の計画にあった事業を実施し、サービスの向上や収入の増加に繋がれたい。

市（施設所管課）による総合評価	総合評価
令和2年度に引き続き感染症対策を実施しながらの運営となり、休館や時短期間、ホール等のワクチン接種会場としての利用など、通常の運営ができない状況でありながらも開館時間を9時からに変更したことも大きな要因となり、来館者数、施設利用率は増加しており評価できる。 図書館の魅力発信につながる事業の実施やコロナ禍におけるWEBサービスの向上については、継続的に実施していくとともに、さらなる来館者の増加のため、当初の計画に基づいた事業の実施についても検討されたい。 施設利用率、利用料金収入については、令和3年度はワクチン接種会場としての利用が主であったため、今後は効率的な運営に努め、引き続き図書館の特性を活かした積極的な事業展開等、感染対策を講じた上で稼働率の上昇に繋がる取組みを実施されたい。 自主事業については、WEBサービスの強化や利用者ニーズに沿った事業を実施し、利用者満足度の向上に努められたい。	B

総合評価区分

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった